

ままばれ 別冊

子育てに優しい街。だから私たち栗原で暮らします！

kurihalife

【クリハライフ】

TAKE
FREE



ままばれ



栗原市
KURIHARA CITY

kurihalife
【クリハライフ】

【お問い合わせ】
宮城県栗原市 企画部定住戦略室
TEL : 0228-22-1125

[発行] 株式会社メディアパレット編集部
宮城県仙台市青葉区中央4丁目9-15-406
TEL 022-716-5012

[印刷] 株式会社 ホクトコーポレーション



ままばれサイトを
見てね!!



栗原市の子育て情報サイト

ビックリはら!

ままばれ 検索

栗原市 子育て支援
広報キャラクター
ビックリはら!

2400098(05)

栗原市金成在住 戸浦さんファミリー

栗原には、地域全体で子育てをするような風通しの良さがあります。



kurihalife ①
相馬さんファミリー
 お父さん／真之助さん(37歳)
 お母さん／桃子さん(37歳)
 長女／優月ちゃん(小学1年生)
 次女／衣織ちゃん(幼稚園年中)
 長男／新太くん(保育所)



自然に囲まれた環境で子育てしたい
 田舎でゆっくり暮らしたい
 農業がやりたい
 自分の夢を実現したい

「移住」のきっかけや理由は人それぞれですが、自分の故郷に帰るUターンだけでなく、住みたい土地へのIターンも珍しくなくなってきました。大切なのは、その土地と土地の人たちとのご縁ひと足先に暮らし始めた、先輩方の声をお届けします。

栗原市は、自然の恵みと緑豊かな田園のまちです。どこまでも突き抜けていくような青い空すべてが紅に染まる夕焼け風に揺れる黄金色の稲穂そして降るような満天の星空。本当の豊かさがここにはあります。

ここで出会えたのも、またひとつのご縁。少しでもその魅力が伝わりますように。

子育てするのに気持ちの余裕が違います

大阪出身の私は、名古屋の大学にいたパパと共通の友人を通して知り合いました。何年も経ってから出張で仙台に来るようになって、卒業後に実家のある栗原に帰ったパパと再会し、こちらに来ることになりました。ご縁があったんですね。

栗原のいいところはごはんが美味しいこと。お米も野菜も、やっぱり「食」は大切だなと思います。子どもを連れて大阪に帰省すると、向こうは交通量も多いし道も狭いので、子育てにはこちらのほうが気持ちにも余裕ができていと思います。お友達も小学校高学年から新太くんの子までいて、大きい子が自然に小さい子の面倒を見るのが素敵ですね。

住宅新築・購入で最大100万円を補助

私たちが利用したのは、40歳以下の人が栗原市に転入して、1年以内に家を新築するか購入すると、借入金の部を助成してくれる「若者定住促進助成事業」という制度です。うちは年間上限額の20万円を5年間助成してもらえます。子どもが3人なので、これから教育費などがかかるでしょうからとても助かります。

パパの実家に近い土地を探すのに時間がかかったので、その間に住宅情報誌をたくさん見て、理想を詰め込んだ家づくりができました。お庭も子どもたちと犬が走り回れるよう広くして芝を敷いたり、キッチンもちょっと大き目にした。栗原市は若い人でも家を持ちやすく、住みやすい環境だと思います。

ここで生きる、暮らしを楽しむ

私の勤め先がパパの実家の会社なので、長女は学校から帰ると事務所で宿題をしています。家族みんなが子育てを支えてくれるからありがたいですね。この家に大人たちが十数人集まって、子どもたちも20人くらいいて

kurihalife Contents

- P2 【若者定住促進助成事業】
① 相馬さんファミリー
- P3 【子育て応援医療費助成事業】
② 鈴木さんファミリー
- P4 【任意予防接種費用助成事業】
③ 狩野さんファミリー
- P5 【幼稚園授業料2人目以降無料化】
④ 川名さんファミリー
- P6 【妊婦・乳幼児健康診査及び育児相談事業】
【妊婦歯科健康診査】
⑤ 三浦さんファミリー

栗原市について

面積：804.97km²
※2014年10月1日現在、国土地理院公表値
 人口：69,906人(男：33,649人、女：36,257人)
※平成27年 国勢調査報告
 世帯数：23,133世帯
 人口密度：86.8人/km²



若者定住促進助成事業

40歳以下の方が市内に転入し、1年以内に住宅を新築または購入した場合、借入金の一部を助成する制度。毎年末の借入残高の5%相当額、上限20万円を5年間助成。最大で100万円を助成します。

お問い合わせ 担当：定住戦略室
 TEL：0228-22-1125

不便なことを楽しみつつ、心豊かになれる場所



kurihalife ②
鈴木さんファミリー
 お父さん／陽水さん(41歳)
 お母さん／綾子さん(41歳)
 長男／麻白くん(小学6年生)
 長女／日彩ちゃん(小学2年生)
 次男／碧生くん(幼稚園年中)

子育て相談も聞いてくれる近所さん

結婚して登米市から栗原市に来ました。パパのご両親と同じ敷地内での二世帯住宅で暮らしており、ご両親は農業をやっています。ズッキーニは栗原市の名産なんです。庭にも広い家庭菜園があって、よくお友だちと集まってBBQをしています。

18歳まで医療費がかからない安心感

昨年長男が腰に怪我をして、ここの1年2ヶ月ほど通院とリハビリをしています。それに加えて整



骨院でストレッチなどもやりました。今はほとんど治って、スポーツでバスケをやっていますが、今も月1回の診療、週1回のリハビリなどに通っており、そのすべてを助成してもらっています。ハードなスポーツなので、18歳まで医療費を全額助成してもらえると、親としてはかなりの安心材料です。ほかの自治体では中学3年生まで医療費無料のところが多いのですが、高校の3年間で部活も一番激しく怪我をしやすい時期です、これから教育費もかかるので、医療費がかからないのはありがたいですね。

やりたいことは、自分たちの力で叶えていく

栗原市の鶯沢金田森公園キャンプ場によく行きます。ここは遊具は何もないのですが、「何もないところでも自由に遊べる」というのが私の子育てのモットーなの

で、子どもたちもいろいろ工夫して楽しんでます。栗原は不便なことを楽しみつつ、心豊かになれる場所だと思います。私たちが若い世代にアグレッシブな人が多く、誰かが「こういうことやってみようね」と声を出すと「じゃあやってみよう」と人が集まって、それを現実させる力がある地域でもあります。最近は一ターンの人たちがほとんど入ってきているし、そういう人たちが活躍できる場が広がれば、もっともっと楽しい街になっていくと思います。



子育て応援医療費助成事業

0歳から18歳到達後最初の3月31日までの間にある児童の、入院及び通院の医療費を全額助成します。(所得制限なし)

お問い合わせ 担当：子育て支援課
TEL：0228-22-2360

人と人との繋がりを大切にしたい

いい街にしていきたい。



kurihalife ③
狩野さんファミリー
 お父さん／良太郎さん(36歳)
 お母さん／有喜さん(34歳)
 長男／忠郎くん(幼稚園年中)
 次男／輝之郎くん(保育所)
 祖父／忠由さん(63歳)
 祖母／きみえさん(60歳)
 曾祖母／光子さん(89歳)

効くようになったので、生後2ヶ月くらいからほとんどの予防接種を受けさせています。インフルエンザは金額が1回あたり3,000〜4,000円と高く、しかも子どもは2回接種なので助かっています。ロタリックスやロタテックになると、1回10,000〜15,000円ですからね。助成があれば受けさせるかどうか迷うこともないので、大人になってからの感染の心配がなくなるのがありますね。

子どもたちの費用がかからない分、大人もきちんと予防接種を受けられることができます。親のほうから寝込んでしまつては大変ですから、自分たちもきちんとケアしないと。ママ友さんたちとも、この制度があつて心強いねと話しています。

任意予防接種のワクチン接種を受けるには、事前に予約が必要ですが、もし栗原市外の医療機関でワクチン接種を受けた場合でも、助成の申請をすれば大丈夫です。

良くなって連れて行きやすくなりました。また幼稚園の行事や、子どもが遊べるイベントが増えて、そこに参加するのほかの年代のお友達と遊べるのいいですね。くりでんミュージアムや、昆虫が大好きなのでサンクチュアリセンターつきだて館にもよく行きます。田んぼで遊ぶのも好きです。オタマジャクシやカエルも取り放題(笑)。子どもをのびのび育てたい人いい街です。

うちは地域の人が集うお店ですから、これからも人と人との繋がりを大事にして、いい街にしていきたいですね。



パパが来てくれてみんな喜んでくれました

我が家は鮮魚店をやつていて、私の両親と曾祖母まで4世代同居しています。町内にあまり飲み屋さんがないので、宴会などのご予約も受けています。また仕出し料理やお弁当など幅広く扱う、地域のちょっとした交流の場所にもなっています。



県南の大河原町からパパがお嬢さんに来てくれて、みななどでも喜んでくれました。パパも最初は方言の違いにびっくりしたそうですが、ふたりの息子も生まれて、両親と一緒に店を支えてくれています。

子どもの予防接種が無料の分、大人もきちんと健康管理

医療事務の仕事をしているので、ほかの市では医療費も予防接種も結構お金がかかる話を聞くので、とても助かっています。ちょっとした気になることがあれば、すぐ病院に連れて行けるのがいいですね。B型肝炎も助成が

のびのび子育てにぴったりの街

ここ2〜3年で公園がすごく充実してきて、設備や安全面が

任意予防接種費用助成事業

り患した際の重篤化を防ぐため、市内に住所がある方を対象に、任意予防接種の接種費用を助成します。

お問い合わせ 担当：健康推進課
TEL：0228-22-0370

自分が育ったように、
ここの学校や遊びで
育てて欲しい。



kurihalife
④
川名さんファミリー
お父さん/雄大さん(37歳)
お母さん/由紀さん(36歳)
長女/彩香ちゃん(幼稚園年中)
次女/初姫ちゃん(幼稚園年中)
祖母/一江さん(62歳)



いざという時も困らない、暮らしの本質的な豊かさ
双子の孫のために、市内の他の地区から引っ越してきたおばあちゃんや猫3匹と一緒に暮らしています。子どもたちの髪のカットやお団子はおばあちゃんがやってくれています。
この町が一番すこかったのは震災の時です。自転車や歩きで全部買ひ物ができて、帰るとドアの前に「食べてください」と食料が置いてありました。今もお隣さんから新鮮な野菜をもらったりしています。遠くに行かなくても必要なものが手に入る、本当に豊かな暮らしがここにあります。
幼稚園が2人目以降無料の分は未来へ貯蓄
彩香と初姫は去年から近所の幼稚園に通って、この制度のお世話になっています。ちょうど去年新設された時に入園したのですが、保育所も同じ

敷地にある幼保一体型施設です。1歳過ぎから保育所だったので、栗原市では保育所や認定こども園のどちらに入所していても、2人目から保育料が無料です。兄弟の場合は両方が園にいる間だけですが、うちは双子だからずっと一緒なので、保育所の時からこの制度が利用できてとても助かっています。本来かかる費用が半分で済むので、その分を貯蓄やこれからの教育費に回せるのがいいですね。
給食費も2人目以降無料です。給食費の補助制度(兄弟で同時に幼稚園に就園している場合は第2子以降の園児の給食費を補助)があつて、年度末に補助金の申請をすると、支払っていた分が戻ってきます。貯金していた感じですね。

店できたらいいかなと思ってます。
【パパ】うちは借家なのですが、レハブが付いていて、大家さんが結構好きに使っていいという方なので、バイクの改装をするスペースにしています。このあたりや花山は、ツーリングにくる人も多いので、いつかバイク好きが集まって、バイクの話ができるようなスペースになったら面白いかな。それが今の夢ですね。

**幼稚園授業料
2人目以降無料化**
兄弟で同時に幼稚園に就園した場合、第2子以降の授業料が無料。
担当：学校教育課
TEL：0228-42-3512
お問い合わせ

子どもを伸び伸びと、
感性豊かに育てたい。

今年6月に埼玉県戸田市からママの地元栗原市に移住したのは、祖父母がいて、自然豊かな環境で子育てしたかったから。雁の鳴き声、果物の匂や空の様子で季節の移り変わりを知ること



に「暮らししている」と実感します。季節の変化は都会では商業ベースですが、こちらでは感覚が優位。緑介も毎日のお散歩でそのことに気づいています。情報で季節を教えられるのではなく、身体や

肌で感じていれば感性が豊かになっていくと思います。
出産前も誕生後もきめ細かな支援があります。
来年1月初めに第2子を出産予定です。栗原市では妊婦健康診査の助成や新生児訪問、乳幼児健診、子育て相談などきめ細かい支援があります。妊婦健診で

は胎児の健康状態、赤ちゃんに影響を及ぼす感染症がないか、妊娠高血圧症は大丈夫かなど定期的に診てもらっています。第1子の時は食べ物や医療面で不安になることがあるので、そういう時は子育て相談の上手な利用をお薦めします。
妊婦歯科健康診査では虫歯の有無や歯石が溜まっているかなど丁寧に診てもらいました。妊娠中はつわりで歯磨きができなかったりで虫歯ができましたので、出産前の時間のある時に治療しておきたいですね。大丈夫だろうと歯科健診に行かない人もいるかと思いますが、歯周病などは赤ちゃんの成長や健康にも影響があるそうなので大事だと思います。

身体で感じる季節の移り変わりは
毎日違うし発見があります。

kurihalife
⑤
三浦さんファミリー
お父さん/貴生さん(33歳)
お母さん/真理さん(35歳)
長男/緑介くん(1歳)
【パパ】 <http://noahs-art-gallery.com/>
【ママ】 <http://www.babycardamom.com/>

【ママ】スパイスのアクセサリを作っています。東京都内のお店やネットにショップを持っているので、そこから発注が入ります。「染め」もやっているのですが、広い水場やスペースが必要でした。実家なら畑もスペースもあるので、スパイスを種か

栗原からクリエイティブな作品を発信していきます。



ら育てて制作活動ができます。栗原で育ったスパイス染めの手拭いとか、栗原発のものを作れるといいですね。
【パパ】アパレル系や、広告代理店を通してデパートや百貨店の広告・Web媒体などのイラストを描いています。元々仕事の依頼がインターネット経由なので、国内に限らず海外からもあり、仕事をやる場所はあまりハードルにはなりません。植物の絵を描くので、自然に近い環境から絵にいい影響を受けていると感じています。

妊婦・乳幼児健康診査及び育児相談事業
赤ちゃんとお母さんの安全と健康のために、妊婦健診の助成や新生児訪問、乳幼児健診、子育て相談などきめ細やかな支援を実施。
妊婦歯科健康診査
妊娠期のむし歯や歯周病の予防とセルフケア意識の向上、胎児の歯に対する意識づけによる乳幼児のむし歯抑制のために、市が指定する歯科医院で健診を受けた場合、市が健診料を全額負担。
お問い合わせ 担当：健康推進課 TEL：0228-22-0370